

やさしい本を沢山読もう！ 「多読」で英語学習

早稲田大学
中央図書館
2021.10.26

語学学習法の1つとして広まりつつある「多読」を紹介いたします。ここでは英語についてお話しますがこれは他の言語でも活用できる手法です。

多読とは？

「多読」は、とてもシンプルな語学学習法で、「やさしい本を沢山読もう！」というものです。中学・高校の授業や、大学受験で英語を勉強したものの、「使える英語」が身についていないと感じている方は多いのではないのでしょうか？ その原因は、英語に触れる「量」が圧倒的に不足しているためと言われています。とはいえ、海外留学はちょっとハードルが高い…という方におすすめなのが、この「多読」です。通学途中の電車内や寝る前の5分などを使って多読を始めてみましょう。

多読の進め方

1. 本を選ぶ

とにかく内容が易しいもの、楽しいものから始めましょう。大学では「Penguin Readers」や「Macmillan Readers」などの Graded Reader（語彙数やレベルで分けられた本）を取り揃えています。お近くの公共図書館でも多読用に絵本などを備えているところがありますので、活用してみてください。



2. 本を読む

「多読三原則」というものがあります。

- ★ 辞書は引かない！
- ★ 分からないところは飛ばす！
- ★ つまらなくなったらやめる！

「多読」は英語に触れる量を増やすことが目的なので、すべての単語の意味を正確に理解し、精読する必要はありません。これは決して「辞書を引くことが悪い」という意味ではありません。分からない単語は思い切って読み飛ばし、とにかく沢山読むことに専念しましょう。

分からない単語だらけの本や、実際に読み始めたけれど気分が乗らない本などは、読み通すことにこだわらず、後回しにしましょう（これ重要！）。楽しいと思える本をどんどん読んでいき、とにかく「量」を稼ぎましょう。

3. (オプション) 読んだ本を記録する、感想を書く

自分が読んだ本とその総語数（本の背表紙や出版社 Web サイトで確認できる場合があります）を記録し、10万語、そして100万語といったように目標を定めるのも良いでしょう。エクセルなどの表計算ソフトを使うと、語数の合計が簡単にできます。ブログやSNS等を使って読後の感想を書いている人もいます。いずれにせよ、自分のモチベーションをどうやって維持するかがポイントです。自分に合った方法を探してみましょう。「通学時間は必ず多読！」のように、時間や場所を決めてみるのも1つの方法です。

おすすめの本 (Graded Reader 以外)

いつか一般の洋書にもチャレンジしたい、と思っている方は多いでしょう。かといって、いきなり Harry Potter (全 7 巻、総語数: 約 108 万語) ではハードルが高すぎます。そこで比較的語彙レベルが低く、また長すぎない作品をあげてみます。他にもストーリーを知っている児童文学作品などがオススメです。



■ [Frog and toad are friends / by Arnold Lobel](#)

(総語数: 約 2,300)

絵本作家のアーノルド・ローベルの作品。日本語訳版も「ふたりはともだち」のシリーズで出ており「がまくんとかえるくん」として知っている方も多いかもしれません。Graded Reader が合わない方は、このような絵本や挿絵の多い物語をたくさん読むと良いでしょう。

■ [Holes / Louis Sachar](#)

(総語数: 約 47,000)

いわゆる一般の洋書ですが、比較的読みやすいのが人気の理由です。多読愛好者の間で、1つの到達点とされている本です。主人公スタンリーが無実の罪で少年院に送られ、そこから始まる冒険劇。ニューベリー賞(アメリカの児童文学賞)など多数受賞。

■ [Charlie and the chocolate factory / Roald Dahl](#)

(総語数: 約 30,000)

こちらも多読愛好者の間では有名な作品です。2005 年に映画化もされました(ジョニー・デップ等が出演)。チョコレート工場を舞台にしたユーモア満載のストーリーです。映画を見てから読むのも手です。

■ 英訳された日本のマンガ

多読にマンガを取り入れる方法もあります。有名な作品であれば大抵英訳されています。手塚治虫の「鉄腕アトム (Astro Boy)」や「ブッダ (Buddha)」、「ブラックジャック (Black Jack)」、「アドルフに告ぐ (Adolf)」などは作品としても面白く、本学図書館にも所蔵されています。

多読向けの本を置いている図書館

- ・戸山図書館 1 階 英語多読コーナー
Cambridge、Macmillan、Oxford、Penguin、Who Is/Was 等。全 440 冊程。
- ・中央図書館 3 階 Penguin Books コーナー
Penguin Readers と Oxford Bookworms シリーズがあります。全 170 冊程。
- ・頂新国際グループ記念学生読書室 (商・国際教養学部 学生読書室)
Oxford Bookworms シリーズがあります (館内利用のみ)。マンガもあり。
- ・所沢図書館 洋書コーナー
Reader 以外にも、比較的読みやすい一般書 (Deltora Quest 等) があります。

WINE での探し方

- WINE で多読本を一覧したい時は、各シリーズのタイトル (Penguin readers, Macmillan readers, Oxford bookworms, Cambridge English readers 等) で検索する必要があります。
- 「Macmillan readers」は、電子版が利用できます。WINE で検索し、そのまま Web 上で読むことが出来ます。パラパラと見て、各シリーズのレベルを知りたい時などは便利です。また簡単な本 (Lv1 等) であれば、その場で読み切ってしまうのもよいでしょう。

多読に関する本、関連サイト

■ [英語多読完全ブックガイド: めざせ! 1000万語](#) (図書)

この本以外にも多読のガイドブックや入門書があります。WINE のキーワード検索で「多読」と入れて探してみましょう。こういったガイドブックを見ながら自分にあった本を選ぶのも、多読の1つの楽しみです。

■ [NPO多言語多読](#) (Web サイト)

多読に関する総合情報サイト。多読の進め方やおすすめの書籍情報、また多読だけではなく多観 (アニメや動画) の情報もあり。

